

## 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【福島県】

学校名【福島市立吉井田小学校】

1 実践テーマ	①・II・III・④・⑤(複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全児童(457名)
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 行事名(運動会(吉井田オリンピック2020)学習発表会)</p> <p>② 教科名(体育科・道徳・社会科・国語科・総合的な学習の時間)</p> <p>③ その他(運動委員会によるクイズ・給食指導(ホスト国メニューの紹介)持久走記録会 縄跳び記録会)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名(福島市聖火リレー出発式での演奏:本校マーチングバンド部(3月予定))</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>「オリンピック・パラリンピックで 吉井田っ子が、輪になる心」</p> <p>○自らの目標をもち、自らのベストを目指す子ども</p> <p>○スポーツに親しみ、知・徳・体の調和をとれた子ども</p> <p>○日本人としての自覚と誇りをもち、自ら学び行動できる子ども</p>
5 取組内容	<p>I 学校行事等</p> <p>(1) 吉井田オリンピック2020第1弾「運動会」(全校生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎年春に行っていた運動会であるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で9月に低・中・高学年と3日間に分けて実施した。運動会は昨年度同様に「吉井田オリンピック2020」とし競技種目の内容はオリパラを意識し、創意工夫して行った。</li> <li>入場行進前に本校マーチングバンド部員による1964年の東京オリンピック・ファンファーレの演奏による開催合図に続き、実行委員長(運動委員会委員長)による、聖火台への点灯を行った。開会式後には準備運動を兼ねて「東京五輪音頭2020」と〈NHK〉2020応援ソング「パプリカ」を使用したダンスを踊った。</li> <li>競技種目はパラリンピックを意識し、シッティング玉入れ(たち膝からの玉入れ)目隠しをした友達の手を引いてゴールする種目を行いまた、各所にピクトグラムを置いてオリ</li> </ul>

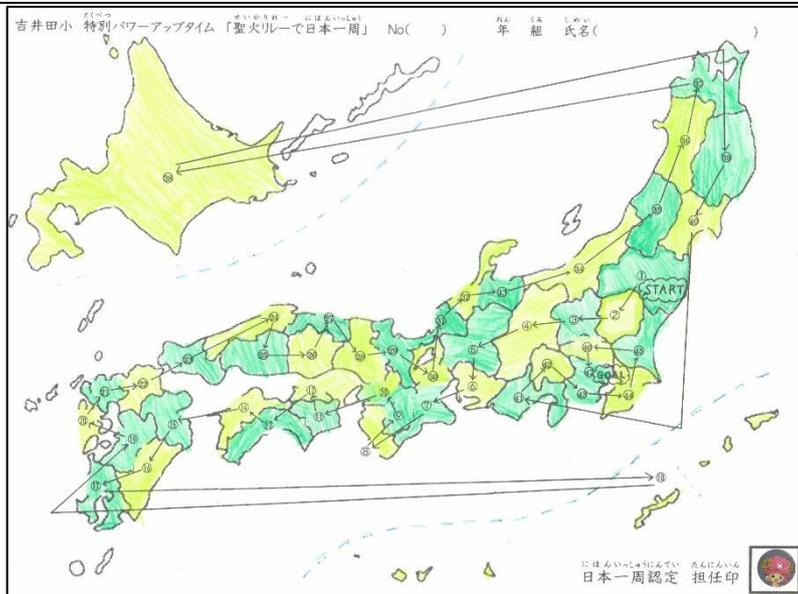
ピックムードを高めた。

- 子どもたちによる運動会スローガンを作成する上では「世界」を意識した文言が出てきたことを受け「吉井田から世界へエール！心のバトンをつなげよう！」に決まり、各クラスで考えたスローガンを聖火をかたどったモチーフに書き、校内に掲示した。模擬聖火台とトーチも手作りで作り、会場内に設置した。
- 分散開催になってしまったが、各ブロックともにオリンピック・パラリンピックへの機運が盛り上がった3日間であった。



## (2) 吉井田オリンピック第2弾「聖火リレーで日本一周マラソン（持久走）」（全校生）

- 昨年度同様にマラソンカードに日本地図を配置し、走った距離に応じて、東京2020オリンピック聖火リレーで巡回する各都道府県をリレーと同じコースで進むカードを作成し持久走記録会までの練習に取り組みさせた。（福島県スタート東京都ゴール）
- 「聖火リレーで日本一周」をスローガンにクラス全員が日本一周を目指して取り組んだ成果が現れ、11月に実施した持久走記録会では、各学年の子どもたちが自己ベストを目指して全力で走る姿が見られた。



(3) 吉井田オリンピック第3弾「みんなで跳ぼう！なわとびオリンピック」(全校生)

- 1月より紅白対抗で長縄(8の字跳び)に挑戦し、跳べた記録を競わせた。ホワイトボードを活用し、毎回跳べた記録を更新するようにしたことで、クラスや学年の記録が一目でわかり、次の目標に向かって練習にも力が入る様子が見られた。
- 運動会同様に紅白対抗にし、1年生から順になわとび記録会を実施し、最後の6年生の回数で勝敗の結果が決まるように工夫した。



※ なお、全校生が授業で使用する特別活動室の前の廊下の掲示板には吉井田オリンピック第1弾から第3弾までの記録を掲示し年間を通した取り組みであることに意識を高められるようにしている。

(4) 学習発表会におけるパプリカの演奏と英語劇

- 3年生は外国語活動の授業の成果として英語で「はらぺこあおむし」の劇を披露した。簡単な英語ではあるが、外国の方へも進んで話かけ、コミュニケーションをとる意識づけにもつながった。また、6年生は合奏で「パプリカ」を演奏し来年度の開催を楽しみにする気持ちを伝えた。



## II 授業

### (1) 総合的な学習の時間（3年～6年）「山下航平選手からのビデオメッセージの視聴」

- 今年度は直接オリンピックとふれあう活動は難しかったので、事前にオリンピックである山下選手にメッセージの録画をお願いし、それを学年毎に視聴し、山下選手に視聴後の感想を送った。ビデオの内容は3段跳びの実技、陸上競技を始めたきっかけ、オリンピックとしての体験談、夢を実現するために大切なことであった。3段跳びを見た児童は足のホップ・ステップ・ジャンプの動きをさっそく試すなど関心を高めることができた。また、実際に山下選手が跳んだ記録や日本記録の長さをカラーコーンで示したことにより、よりリアルにその距離感をつかみ、オリンピックへのあこがれをもたせることができた。



### (2) 体育（5年）「保健（心の健康）山下選手の悩み」

- 5年保健の学習（心の健康）ではオリンピックの悩みを聞き（ビデオ録画）その解決方法をブレインストーミングで考えさせる学習を展開した。市内の先生方にも参観していただき、悩みは誰にでもあることを知り、「オリンピック選手も悩みがあり、それを克服するために努力している」等の感想をもつことができた。



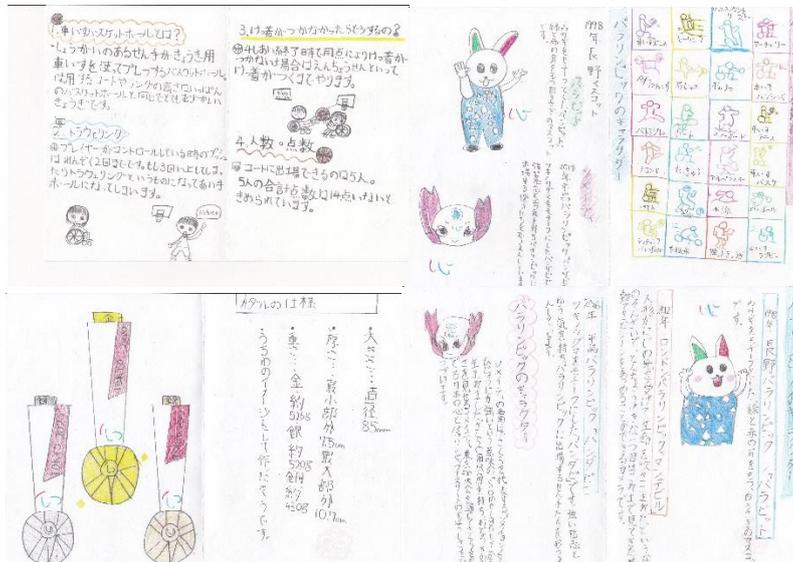
### (3) 社会 (6年)「生け花体験教室」

- JA ふくしま未来の協力により、社会科学習の一環として実施した。(現代にもつながる室町文化の体験) 生け花の歴史を学び、実際に生け花を体験することを通して、日本の伝統文化のよさにふれるとともに、おもてなしの精神を養う一助となった。



### (4) 国語 (3年)「パラリンピックの調べ学習」

- 国語科の学習でパラリンピックについて調べる学習を実施した。パラリンピックの種目、マスコット、メダル、ピクトグラムなど一人一人テーマを決め、リーフレットにまとめた。
- 子どもたちはパラリンピックについての新たな知識を得るとともに、日本で開催されることや一部競技が福島市で開催されることに誇りをもつことにつながった。



	<p>Ⅲ その他の活動</p> <p>(1) 食育(全校生)「ベトナム・スイス(福島市のホスト国)の料理作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校栄養教諭の協力と給食委員会の呼びかけにより給食のメニューを全家庭に紹介し、各家庭でベトナム料理のフォーとスイス料理のアルペンマカロニを作ろうという呼びかけをした。家庭で作った料理を写真に撮り、感想を添えて提出してもらった。レシピを紹介したことで各家庭ごとにアレンジを加え親子で楽しく料理に取り組ませることができた。また、ホスト国についての興味の深まりもあり、ほかの外国料理の紹介を促す感想もあった。</li> </ul> 
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 吉井田オリンピックを運動会だけでなく、持久走、なわとびと年間を通して計画的に実施してきたことで、オリンピックへの意欲を高めるとともに、運動への意欲も高まり、全校で取り組む喜びや競争する楽しさを体感させることができた。また、コロナ過での体力向上にもつながった。</li> <li>○ オリンピアン山下選手からのビデオメッセージや保健の授業によりオリンピックを単なるあこがれだけでなく身近に感じる事ができた。また、生け花教室を通して、自国の文化について理解を深めるとともに、外国のお客様を迎い入れる側としての気持ちが高まった。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4年間の実践の積み重ねから、イベント開催だけでなく教科の中でオリパラを意識し、年間を通した計画的な学習活動を行っている。</li> <li>○ オリンピック・パラリンピック教育全体計画を作成し、各学年の教科等の指導内容に関連させた実践内容を設定した。そのためアスリートとの直接体験活動の他は大きな変更をしなくてもオリパラ教育を推進することができた。また、教育課程への無理のない位置付けができています。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校規模の関係によりオリンピックやパラリンピックの招聘による授業は中学年や・高学年が対象になることが多い。低学年での効果的な取り組みが課題である。</li> <li>○ コロナ禍においてアスリートの熱い思いや高い技術を肌で感じる活動を計画することが難しい。</li> </ul>

9来年度以降の 実施予定	<ul style="list-style-type: none"><li>○ オリンピック・パラリンピック教育全体計画の見直し</li><li>○ オリンピック・パラリンピック競技の体験教室など全校的な展開</li><li>○ ボランティア活動的な体験の実施</li><li>○ 年間を通した吉井田オリンピック2021活動</li><li>○ オリンピアンやアスリートへのあこがれや思いを知る学習</li><li>○ 今できるボランティア活動</li><li>○ ホストタウン（スイス連邦・ベトナム社会主義共和国）への関心や理解を高める取り組み</li></ul>
-----------------	---